

特集

三田市高校生議会



本番までの道のり

高校生議員の皆さんが、身近な生活の中で見つけた疑問や課題に対し、自ら導き出した解決策を、市に提案するまでの流れを紹介します。

9月～

素案づくり

説明会や議場見学、グループワークを行う。参加者同士が、互いの提案について意見を交わし、他人の視点や考えに触れて思索を深める。

1

日常生活の中で出合った疑問や課題からテーマを決め、その原因や対策を考え、質問・提案の骨子をつくる。

10月30日

ワークショップ



10月～1月

本案づくり



3

自身の提案を裏付けるための調査やデータ収集・分析を行い、議会本番の質問書や補足資料を作成する。

2月5日

議会本番



高校生議会当日。努力の結晶である質問・提案を市に投げかけ、答弁を受ける。

4

高校生から見た市政

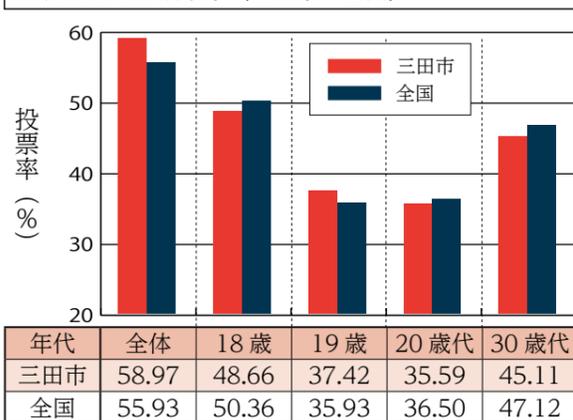
令和5年2月5日、8校の高校生たちが三田への熱い思いを胸に、市議会議場に集いました。全員が集まったの開催は3年ぶり。高校生議長による進行の下、通学で使う駅周辺のバリアフリー化や公園の美化など身近な地域のことから、SDGsやゼロカーボンなど社会全体が直面する課題まで、幅広い分野に関して、高校生目線で市に質問しました。

(質問内容は6～7頁掲載)

高校生議会とは

市内にある高校の生徒たちが議員となり、日常生活の中で感じた疑問や課題について、市に施策を提案します。平成27年に法律が改正され、選挙権年齢が「18歳以上」に引き下げられてから始まり、今年で8回目。選挙がより身近になった高校生が、政治や選挙への関心や地域への愛着を育み、三田のまちをつくる当事者として主体的に考え、行動するきっかけとなることを目指しています。

令和3年10月31日執行衆議院議員総選挙(小選挙区) 30歳代までの投票率(三田市・全国)



【全国：総務省 HP「国政選挙の年代別投票率の推移について」】

19歳から20歳代にかけて選挙投票率が特に低くなっています。若い世代が政治に関心を持ち続けるための施策が必要です。



特別枠

異なる高校の2人がペアを組み、共通のテーマについて質問・提案を行う

支え合い高め合えるのはペアならでは

源 学校で普段会えないので、スマホやタブレット端末で互いに情報を共有しながら議案をつくりました。一緒に考え意見を交わせるパートナーがいて、さらに楽しめました。

近藤 他校の先輩と一緒に考え、形にするのは貴重な時間でした。

初対面の時は緊張したけどすぐに打ち解け、それからはむしろ支え合える相手がいることが心強かったです。

提案

歩行者、自転車の交通安全意識向上に向けて

高校生議会は経験と学びの場

源 生活の中で問題点を見つけ出し、解決策まで深く考えることは良い経験でした。定期テストや修学旅行の合間を縫っての質問書づくりでしたが、授業で得た知識を実践に生かせるチャンスでした。



北摂三田高校1年 近藤 陽太 さん



三田学園高校2年 源 悠晴 さん

# わたしたち の提案

## 三田市の地域医療システムについて

地域医療体制を充実させるため、必要とする医療を迅速・効率的に受けられるよう、医療機関の検索や、医療機関がカルテなどの患者データを共有できるシステムの構築を。

のぐちあきと  
野口 輝人 さん  
有馬高校  
1年



## 歩行者、自転車の交通安全意識向上に向けて

大きな事故を防ぐため、学校やイベントで交通ルールを学ぶ機会をつくり、修了者に割引などの特典つき「交通ルールマスターカード」を交付し意識づけの推進を。

こんどう ようた  
近藤 陽太 さん  
北摂三田高校  
1年



## 歩行者、自転車の交通安全意識向上に向けて

歩行者が信号を守るよう、赤信号中クイズを流し、青に変わる直前に答えを発表するなど止まりたくない仕掛けを。また高校生が安全確認している場所を広報して啓発を。

みなもと ゆうせい  
源 悠晴 さん  
三田学園高校  
2年



## ゼロカーボンシティの推進について

市民がゼロカーボンを身近な問題として捉えるよう、まずはリサイクル率が低く燃焼効率の悪い生ごみを減らすため、「コンポスト」を家庭に配布するなどの取り組みを。

かんなん ゆうや  
河南 結也 さん  
三田祥雲館高校  
2年



## 三田市のSDGsの取り組みについて

三田市をSDGs未来都市に選出されるような市にするため、地元事業者と連携した地域ポイントの導入など、市民が行動に移しやすい施策やイベントの創出を。

おかもと ゆま  
岡本 夕菜 さん  
有馬高校  
1年



## 自分たちが希望する進路を叶えられるように

障害があっても、自分の希望や夢が実現できる進路先が市内に増え、1人1人に適した進路を選択できるまちに。

にしもと いくや  
西本 育矢 さん  
ひまわり特別支援  
学校高等部 1年



## 三田市内の公園における美化活動について

自分たちの地域の公園を自分たちで大切に守るという意識の醸成と仕組みづくりを。

あさか そうた  
浅香 爽太 さん  
三田西陵高校  
2年



## 三田市の福祉事業について

病気や家庭の事情などで生活が厳しい状況にある人たちが支援を受けられ、住みやすいまちとなり、将来に希望が抱けるよう、市のサポートの充実を。

ふじわら らいむ  
藤原 来夢 さん  
有馬高校  
2年



## 相野駅周辺道路のバリアフリー化について

自分の通う学校やその地域をもっと便利で魅力あるものにするため、JR相野駅周辺の道路を広くて段差の少ないものにするなど、全ての人が暮らしやすいよう整備を。

ねじめ ちさ  
根占 知沙 さん  
三田松聖高校  
2年



## 三田市における多世代交流館の増設について

年齢や地域を越えて、全ての人が明るく暮らせ、交流できるまちにするため、憩いの場・安心して相談できる場所として各地区に多世代交流館を。

やまだ りょう  
山田 諒 さん  
三田西陵高校  
2年



## 議長

やまもと ふうか  
山本 楓華 さん  
有馬高校  
2年



## 議長

もりおかりん  
森岡 凜 さん  
三田学園高校  
2年



## 教育で街を活性化 - 「公の塾」が創る三田市の新しいカタチ -

子育て世代が住みたいまちにするため、公共施設や在野の人材を活用し、市が無償の塾を運営することで、教育費の負担軽減を。

もりもと こうた  
森本 昂太 さん  
北摂三田高校  
2年



## 相野駅周辺の活性化について

学生の利用が多いJR相野駅の知名度と魅力向上のため、周辺に花壇をつくって駅のイメージを明るくしたり、特産品の自動販売機を設置するなど、また来々となる相野駅を。

いちやま あやの  
市山 綾乃 さん  
三田松聖高校  
2年



## 三田市の知名度UPについて

田舎暮らし需要の高まりを転入者増加につなげるため、三田の大きな魅力である豊かな自然とxR\*を活用して、市の知名度向上を。

\* VR(仮想空間)・AR(拡張空間)・MR(複合空間)などの技術の総称

たかやま こうたろう  
高山 洸太郎 さん  
クラーク記念国際  
高校 2年



## スポーツによる町の活性化について

スポーツをきっかけに、世代や居住地域を越えた人の輪を広げるためのイベント、特に「ノルディック・ウォーキング」を、若者や市外にPRし参加者を増やす取り組みを。

おおさこ りんた  
大迫 凜太 さん  
三田祥雲館高校  
2年



## 三田市の農業や特産物の認知度を上げる方法について

三田市の農業を盛り上げ、農業従事者の高齢化・後継者不足を解消するため、若い世代をターゲットに、三田米、三田牛以外の幅広い農産物のPR推進を。

なかもり かな  
中森 加奈 さん  
三田祥雲館高校  
2年



## 農業を志す人を増加させるための施策について

若い世代の農業者を増やし食料自給率を向上させるため、耕作放棄地を活用した農業体験で、農業を志すきっかけづくりを。

くわさこるか  
桑迫 留花 さん  
三田松聖高校  
1年

### テーマを選んだ理由

探究の授業で、生ごみに腐葉土などを混ぜ微生物の力で堆肥に変える「コンポスト」を活用した実証実験を行って、環境問題を解決するために、自分だけが実践するのではなく、周りにも広めていくことが必要だと気付きました。スケールが大きく、遠いことのように感じますが、1人1人の地道な行動こそ解決への近道です。生活で必ず発生するゴミの削減からスタートすれば、誰でも環境問題へ第一歩を踏み出せると考えました。

### もうすぐ18歳。成人・選挙権年齢を迎える想い

責任の重さを感じます。20歳で成人なら大学生活や仕事で少し社会を知る時間がありますが、高校生の方が成人と考えると不安もあります。でも選挙は必ず行きたいです。選挙は、政治に参加し、

### 学習を深め力を伸ばす

「探究」で学んだことをどう社会に還元するかを意識するようになり、学習がさらに深まりました。もともと意欲が高く周囲と協力して取り組んできました。さらに外へ広げる力を伸ばせているのが素晴らしいです。

三田祥雲館高校  
田中尋子先生

自分たちのことを自分たちで決める大事なチャンス。若い世代が選挙に参加できるようになって良かったです。

### 1人1人の行動が環境問題の解決につながる



ゼロカーボンシティの推進について  
三田祥雲館高校2年 河南結也さん



SDGsの取り組みについて  
有馬高校1年 岡本夕菜さん

## 未来をつくる INTERVIEW

### 若者たち

### テーマを選んだ理由

私にとって、卒業後の進路先の選択は大きな課題です。福祉事業所によって雰囲気や設備などが異なるので、自分が居心地よく感じられる場所を選びたいと思っています。また、生まれ育った三田で、友だちや家族とともに過ごしたいという想いもあります。大好きな三田市に、魅力的な進路先が増え、卒業後に、私や後輩たちがより豊かな生活が送れることを願っています。

しかし、医療的ケアが必要な人に対応できる事業所は限られています。通所できる施設が増え、いくつかの選択肢の中から、より過ごしやすく、夢や希望を叶えられる進路を選べるようになってほしいです。

夢や希望を叶えられる進路を選べるまちに



ひまわり特別支援学校 高等部1年 西本育未さん  
希望する進路を叶えられるように



三田西陵高校2年 山田諒さん  
多世代交流館の増設について

### 高校生議会に参加した理由

将来、まちづくりに関わる仕事をしたいと考えています。目指す進路である「地域経営学」という分野では、行政の立場から物事を考える必要があります。市と関わりたいと思っていたところ、高校生議会の開催を知り参加しました。

### テーマを選んだ理由

年代や住んでいる場所などの条件に関係なく、誰にとっても暮らしやすい三田にしたいと思ったからです。ボランティアをしている多世代交流館で「市役所では相談しにくいこともここなら相談できる」という声を聞きました。一方、施設利用者の大半はフラワータウンの住民です。「他の地区にも多くの相談したい人がいるのでは」と考えました。相談しやすい場所・居心地の良い場所を増やすこと

### 成長した姿で百点満点

学校での学習に加え、校外での交流や体験学習を重ねて成長し、本番は百点満点の堂々とした姿でした。同年代との交流が刺激になり、集合写真のときも顔を上げてしっかりと前を見ることができました。普段味わえない雰囲気の中で、貴重な体験ができました。

ひまわり特別支援学校  
西澤佳宏先生

### 夢や希望を叶えられる進路を選べるまちに

高校生の「想い」を大切に質問づくりをサポート  
市健やか育成課 藤園真奈美さん  
質問づくりでは、市にしたいことだけでなく、自分はどうするかを考え提案してもらいました。さらに人に伝えることを意識して、自らの考えを裏付けるデータなどを収集・分析して補足資料を作成してもらったなど、高校生の皆さんの思索がより深まるよう工夫をこらしています。今年は3年ぶりに議場に集まることができました。普段感じることのない緊張感の中、熟慮を重ねた考えを人前で述べるのは貴重な経験です。三田のまちの未来を真剣に考えることや、それに大人が真剣に答える姿を見ることが、三田への愛着や誇りにつながればうれしいです。



市健やか育成課  
藤園真奈美さん

高校生議会をきっかけに、若者が自分の未来とまちの未来をつなげて考え、積極的にまちづくりに関わってくれることを期待しています。

### 動画配信中!

質問・提案資料も掲載  
当日の様様を録画・編集した動画をYouTubeで配信しています。市ホームページ(左記2次元コード)からアクセスできます。

また高校生議員みなさんの質問・提案と、それに対する市の答弁も掲載しています。令和元年以降に開催した高校生議会の内容も見ることができます。



市HP  
(令和4年度  
高校生議会)

### FMラジオに出演!

高校生議員が地元FMラジオに出演します。質問書を読むだけでは分からない想いやエピソードが聴けるかも!

放送日時 3月6日(月)

正午から

放送局 HニールFM  
(82.2MHz)



HニールFM  
HP

問い合わせ 市健やか育成課

電話 559・5046

FAX 563・3611